



ペロズ ステーション

# PERO'S STATION

第85期 第2四半期のご報告

(2022年4月1日～2022年9月30日)

東映アニメーション株式会社



## THE FIRST SLAM DUNK

原作・脚本・監督 井上雄彦

原案: 井上雄彦 監督: 井上雄彦 脚本: 井上雄彦 演出: 井上雄彦 制作: 井上雄彦 制作総指揮: 井上雄彦 制作委員: 井上雄彦 制作協力: 井上雄彦 制作監理: 井上雄彦 制作進行: 井上雄彦 制作デスク: 井上雄彦 制作助手: 井上雄彦 制作調整: 井上雄彦 制作連絡: 井上雄彦 制作管理: 井上雄彦 制作連絡先: 井上雄彦 制作連絡先: 井上雄彦 制作連絡先: 井上雄彦 制作連絡先: 井上雄彦

2022.12.3 公開 [slam-dunk-movie.jp](https://slam-dunk-movie.jp)

株主の皆さまへ

長年準備してきた海外向け作品が  
ようやく動き出す時期へ  
今後の続報にご期待ください



ONE  
SOMEHOW



株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素は格別のご支援を賜り心より御礼申し上げます。

## 劇場版「ONE PIECE FILM RED」が 記録的ヒット、上期の売上高・各利益の 過去最高記録を大幅更新

上期は、複数の大型映画の公開により製作原価や広告宣伝費は嵩んだものの、劇場版「ONE PIECE FILM RED」の記録的ヒットや、映画の関連事業への相乗効果などにより、売上高・各利益とも上期の過去最高記録を大幅に更新しました。また、海外売上高比率の高い当社にとって、円安進行などの経済環境も利益面での押し上げ要因となりました。

## 今後のIP展開

下期に向けての注目作品としては、やはり12月3日公開の映画「THE FIRST SLAM DUNK」が挙げられます。今作は業界初の試みとして、公開約1ヵ月前からの劇場座席予約販売を行うことを発表しました。劇場興行からの収入はもちろん、劇場でのグッズ販売の充実やライブラリー映像の配信展開の強化などにも力を入れ、幅広い収益化を狙います。映画展開を通じてIPのブランド力を最大限に高めながら、長期的な活用にも繋がる第一歩としたいと考えています。

2023年には初夏に映画「セーラームーン」の二部作、秋に映画「鬼太郎」など、来期もライブラリーを活かしたラインアップが出揃いつつあります。また2023年に「聖闘士星矢」のハリウッド実写映画版の公開が決まるなど、数年前から準備してきた海外向け作品の展開がようやく動き出す時期に入りつつあります。今後の続報にご期待ください。

## ■ 中長期IPポートフォリオ



|             | 見込み   |       |       |       |       |       |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|             | 2023年 |       | 2024年 |       | 2025年 |       |
|             | 映画    | シリーズ等 | 映画    | シリーズ等 | 映画    | シリーズ等 |
| 世界向けオリジナルIP | 1本    | 2本    | 1本    | 1本    | 0本    | 2本    |
| 世界向け原作IP    | 4本    | 3本    | 1本    | 2本    | 2本    | 1本    |
| 国内向け原作IP    | 2本    | 6本    | 2本    | 3本    | 0本    | 1本    |
| 国内向けオリジナルIP | 2本    | 4本    | 2本    | 3本    | 1本    | 0本    |

## 中長期IPポートフォリオの最新情報

以前から掲載している当社の中長期のIPポートフォリオですが、今回はその最新情報をお届けします。

### ▶ 第1象限(右上)：世界向けオリジナルIP

この分野を強化する戦略のひとつとして、2021年10月に、世界的にも有名な韓国の総合エンターテインメント企業・CJ ENMと業務提携協定を締結しましたが、その続報として2022年10月の釜山国際映画祭の中で開催されたカンファレンスで、オリジナル企画、小説原作のアニメ、実写作品を制作することが発表されました。2025年までに合計で映画2本、シリーズ等5本を展開予定です。

### ▶ 第2象限(左上)：世界向け原作IP

ハリウッド実写映画版「Knights of the Zodiac(聖闘士星矢)」は2023年の公開が発表されました。2025年までに合計で映画7本、シリーズ等6本の展開を予定しています。

### ▶ 第3象限(左下)：国内向け原作IP

### ▶ 第4象限(右下)：国内向けオリジナルIP

国内が主なターゲットとなることを見込まれる作品であっても、最終的には国内に留まることなく世界でヒットし収益を上げられるIPとなるよう、意識して構築していく方針です。「セーラームーン」や「鬼太郎」シリーズの新作映画など、2023年に展開を予定している作品も数を揃えています。2025年までに、累計で映画9本、シリーズ等17本を準備しています。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともよりいっそうのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2022年11月 代表取締役社長

高木 勝裕



全世界で大ヒット！  
映画「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」

## 作品を進化させ続ける こだわりと夢とは？



林田 師博 (はやしだ のりひろ)

「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」のプロデューサー。2011年入社。第三映像企画部を経て、現在、企画部IP戦略室に所属。映画「ドラゴンボールZ 復活の「F」」、映画「ドラゴンボール超 ブロリー」、テレビシリーズ「ドラゴンボール改」のプロデューサーでもある。



### ストーリー

かつて悟空により壊滅した悪の組織「レッドリボン軍」。だがその遺志は生きていた!! 復活した彼らは、新たな人造人間「ガンマ1号&ガンマ2号」を誕生させ、復讐へと動き始める。不穏な動きをいち早く察知したピッコロはレッドリボン軍基地へと潜入するが、そこでまさかの“最凶兵器”の存在を知るのだった……!! パンをさらわれ基地へとおびき出された悟飯も参戦し、かつてない超絶バトルが始まる!!!!

果たして死闘の行方は!? そして、地球の運命は!?

©バード・スタジオ / 集英社 ©「2022 ドラゴンボール超」製作委員会

Q1

映画「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」の  
全世界での興行の状況について教えてください。

10月末時点の全世界興行収入は139億円を突破しており、前作「ドラゴンボール超 ブロリー」の135億円を超えて好調に推移しています。欧米を中心に前作の興行収入を超えたことに加え、これまで公開が叶わなかった地域でも上映することができ、より多くの方に「ドラゴンボール」をご鑑賞いただけていることを非常に嬉しく思っています。特に北米は非常に好調で、オープニング興行収入が2,100万ドルとなり、全米初登場1位を獲得する<sup>※1</sup>という、歴史的快挙を成し遂げました。この「全米初登場1位」という記録は、私がいつか達成したいと思っていた大きな目標で、社内外で公言してきたので、実現できて喜びの気持ちでいっぱいです。

これもひとえにスタッフ、キャスト、すべての関係者の方々のお力添えがあって達成できた記録であり、改めて皆さまに感謝申し上げます。応援いただいた株主の皆さまにも、この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

※1：日本映画が全米で初登場首位を獲得するのは1999年公開の「劇場版ポケットモンスター ミュウツーの逆襲」以来23年ぶり2作目



ロサンゼルスプレミア上映会の模様。LAにあるアカデミー映画博物館で開催され、セレブリティ、プレス、業界関係者を含め、大勢のファンが集い、会場は大盛り上がり。レッドカーペットならぬ“オレンジカーペット”で英語版主要キャスト・スタッフと共に。

### スタッフ

- 原作・脚本・キャラクターデザイン：鳥山 明
- 監督：児玉徹郎
- 作画監督：久保田 誓
- 音楽：佐藤直紀

### キャスト

野沢雅子、古川登志夫、久川 綾、堀川りょう、田中真弓、草尾 毅、皆口裕子、入野自由、神谷浩史、宮野真守、ボルケーノ太田、竹内良太

### 公式サイト

<https://2022dbs.com/>

## Q2 「スーパーヒーロー」では3DCG化という新たな挑戦がありました。製作に至る経緯、想い、そして公開後の反響を教えてください。



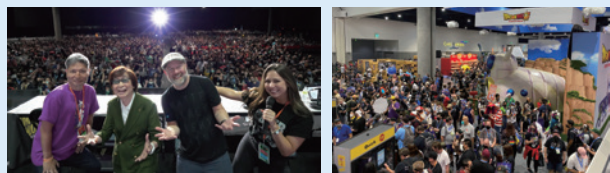
## Q3 プロデューサーとして大切にしていること、これから取り組んでいきたいことは何ですか？

「フル3DCGでドラゴンボールをつくる」という企画は、8年前に始まりました。CGでキャラクターモデルを作ることによって全編通してビジュアルの均一性を保ち、さらに3Dでしか表現できない臨場感、リアリティ溢れるアクションシーンを作り上げることを目的に、この新しい製作方法を模索してきました。企画当初は、社内外関係者から不安視する声も多く、なかなか思うように進行しませんでした。製作スタッフと共に試行錯誤を繰り返し、何とか完成までこぎつけることができました。

公開後の評価は上々で、多くの皆さまからお褒めの言葉を頂戴しました。国内映画評価サイト「Yahoo!映画」では4.3点/5点、米国の映画評価サイト「Rotten Tomatoes<sup>※2</sup>」では批評家の支持率93%、観客の支持率95%となっており、日米両主要映画サイトで「ドラゴンボール」史上最高ポイントを獲得しています。サイト内のコメントも可能な限り目を通してはいるのですが、3DCG表現についてもポジティブな意見が多く、シリーズ最高傑作とおっしゃってくれているファンが大勢いて、3DCG化に挑戦して本当に良かったなと思っています。また、当社のお問合せ窓口にも今までにないほど多くの温かいメッセージをお寄せいただき、観ていただいた方々に作品の魅力が伝わったことを、ただただ嬉しく思います。

海外プロモーションについてはこれまでのノウハウをフルに活用しました。前作の「ブロリー」でもパネルに参加した「サンディエゴ・コミコン<sup>※3</sup>」では、本編冒頭20分を上映したのですが、会場は大盛況。当初、北米での公開規模（スクリーン数）は2,500を予定していましたが、コミコンでの好反響を受け、3,500に拡大しました。さらにロサンゼルスにて開催したプレミア上映後には4,000を超え、日本映画史上最大規模で北米での初日を迎えることができました。

※2:「Rotten Tomatoes」は世界的に有名な映画評価サイト。辛口コメントが特徴的  
※3: コミック・コンベンションの略称で、コミック、アニメなどのサブカルチャーに関する大規模イベント



サンディエゴ・コミコンの様態。会場は同イベントで最大規模の広さを誇るホールHで、日本作品での実施は「ドラゴンボール」のみ。ピッコロ役の古川登志夫さんと、英語版でピッコロ役を務めるクリス・サバトさんのトークに約6,000人の観客が大歓声を送りました。

「新しいことに挑戦し続け、観る人を驚かせること」です。前作の「ブロリー」ではキャラクターデザインを変更し、よりスタイリッシュに一新しました。今作は前述の通り3DCGで製作し、大きな反響を得ることができました。今後は、映像そのもののクオリティ向上だけでなく、ますます市場が拡大している海外への展開に向けて、より効果的な宣伝施策を模索していきたいと考えています。

また、プロデューサーとして「自分なりのこだわりを常に持ち続けること」も非常に大切にしています。今作の冒頭、久々に登場する「レッドリボン軍」に関する2分のシーンは、私がキャスティングした作画監督の久保田 誓さんが自ら手がける2Dアニメーション（手描き）をダイジェスト形式で見せて、観客の心を一気につかむように仕掛けました。また、エンドクレジットの後に主人公の悟空とライバルのベジータの修業の決着シーンを持ってくるよう提案し、児玉徹郎監督他関係者の皆さんを説得し採用してもらいました。

他に特筆すべきこととしては、劇伴作家のキャスティングですかね。私がプロデューサーを始めてから、長年一緒にお仕事をしたいと願っていた佐藤直紀さんをスタッフに迎え入れ、3DCG作品に見合った奥行きのある劇伴づくりをお願いし、音楽面でも最高にカッコいい作品になるように働きかけました。私は作り手の工夫次第でキャラクターはいくらでもカッコよくなり、そして作品はいくらでも面白くなる、と考えています。これからもいい意味で観る人を驚かせることができるよう、自分なりに進化を追求し続けたいと思います。

私の夢は、「ドラゴンボール」を「アベンジャーズ」、「スパイダーマン」などのマーベル映画や、「ジャスティス・リーグ」、「バットマン」などのDC映画に肩を並べるシリーズ作品にすることです。実現に向け精進してまいりますので、今後とも、応援のほどよろしく願いいたします。

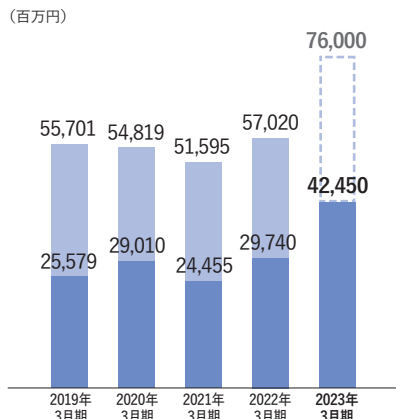
# 決算のご報告 2022年4月1日～9月30日（第85期）

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 連結売上高

424 億 50 百万円 前年同期比 42.7% ↑

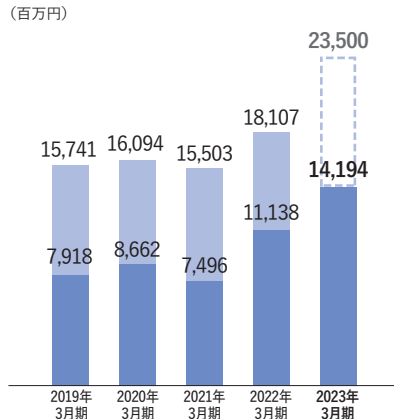
■ 第2四半期 ■ 通期 □ 通期予想



## 連結営業利益

141 億 94 百万円 前年同期比 27.4% ↑

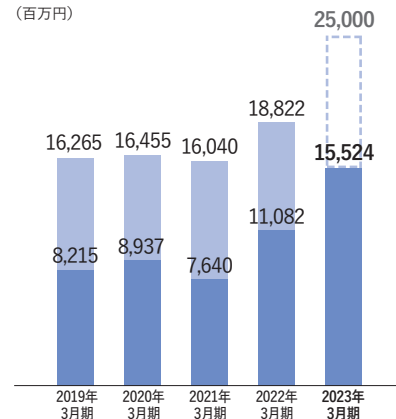
■ 第2四半期 ■ 通期 □ 通期予想



## 連結経常利益

155 億 24 百万円 前年同期比 40.1% ↑

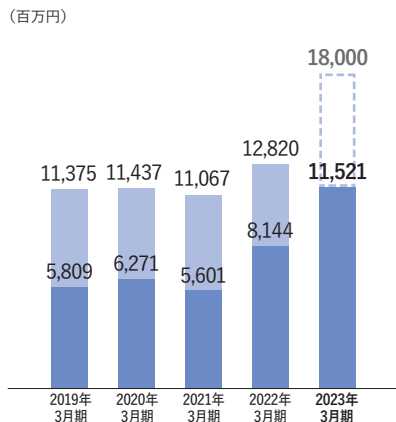
■ 第2四半期 ■ 通期 □ 通期予想



## 親会社株主に帰属する 連結四半期（当期）純利益

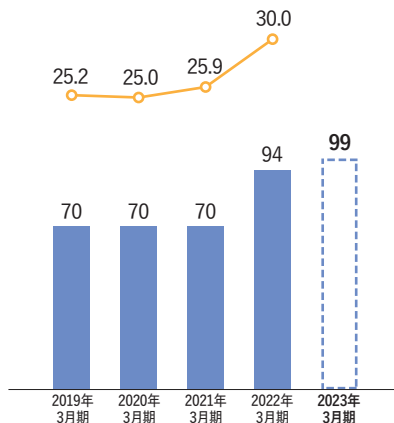
115 億 21 百万円 前年同期比 41.5% ↑

■ 第2四半期 ■ 通期 □ 通期予想



## 配当

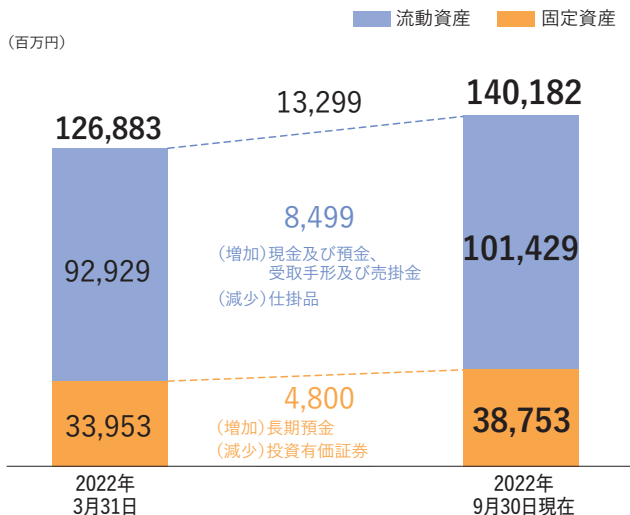
■ 1株当たり配当金（円） □ 配当金予想（円）  
○ 配当性向（%）



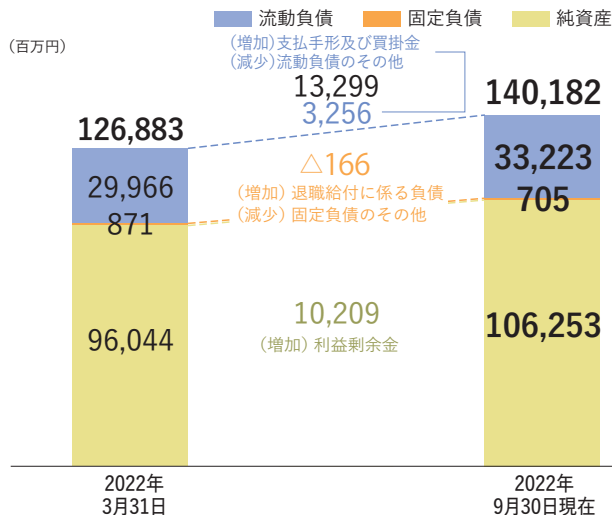
当社は継続的かつ安定的な配当の実施を基本に、中長期的な事業計画に基づく積極的な事業展開のための内部資金の確保や業績などを総合的に勘案して、配当を決定しています。配当性向は連結業績に応じて30%程度を基本としており、2023年3月期は期首予想利益をもとに、1株当たり年間99円としています。今後の配当予想の変更につきましては、連結業績などを勘案した上で別途検討する予定です。

## 四半期連結貸借対照表

### 資産の部



### 負債・純資産の部



## 2023年3月期 第2四半期 概要

当第2四半期連結累計期間において、当社グループでは、「ドラゴンボール」シリーズ、「ワンピース」、「デジモンアドベンチャー」シリーズといった主力作品群からの安定的な収益の確保・拡大を図りました。特に、6月公開の映画「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」、8月公開の劇場版「ONE PIECE FILM RED」を梃子とした営業活動に注力しました。

財政状態については、引き続き安定しています。総資産は前期末より10.5%増加し、1,401億82百万円、純資産は10.6%増加し、1,062億53百万円、自己資本比率は75.8%と高い水準です。

## 統合報告書 「PERO'S レポート2022」発行!

統合報告書では、中長期的な戦略やESGの取組みなど非財務情報と財務情報を統合して、東映アニメーションの過去・現在・未来をご紹介します。

統合報告書は、当社Webサイト「IR情報」でご覧いただけます。

[Web https://corp.toei-anim.co.jp/ja/ir/library/PEROS\\_REPORT.html](https://corp.toei-anim.co.jp/ja/ir/library/PEROS_REPORT.html)



# 事業セグメントの状況

## 映像製作・販売事業

アニメーションの企画・製作、  
各種メディア展開

Major Lineup

### 劇場アニメ



2022年  
12月3日公開

「THE FIRST SLAM DUNK」

### テレビアニメ



2020年  
10月～

「ドラゴンクエスト  
ダイの大冒険」



2021年  
10月～

「デジモンゴーストゲーム」

### コンテンツ

Blu-ray  
「ミラキュラス レディバグ &  
シャノワール」  
BD-BOX シーズン1



Blu-ray  
「ミラキュラス レディバグ &  
シャノワール」  
BD-BOX シーズン2



### 海外映像



フランス向け劇場上映用ポスター  
劇場版「ONE PIECE FILM RED」

### その他



映像配信サイト  
『Netflix』



映像配信サイト  
『Amazonプライム・ビデオ』



売上高

198億47百万円

前年同期比

68.4%



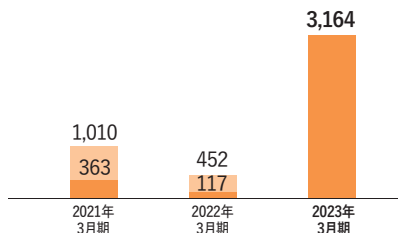
売上高構成比

47%

### 劇場アニメ部門

売上高 31億64百万円

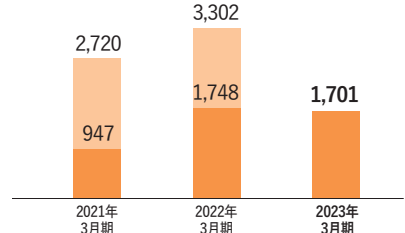
(百万円)



### テレビアニメ部門

売上高 17億01百万円

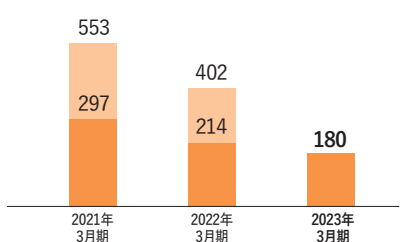
(百万円)



### コンテンツ事業部門

売上高 1億80百万円

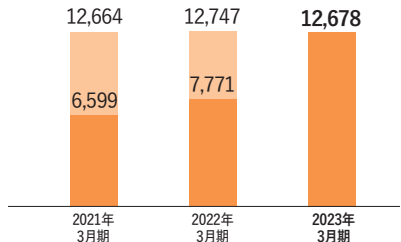
(百万円)



### 海外映像部門

売上高 126億78百万円

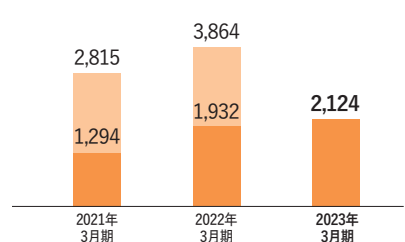
(百万円)



### その他部門

売上高 21億24百万円

(百万円)

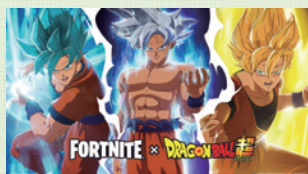


- **劇場アニメ部門**: 劇場版「ONE PIECE FILM RED」の記録的ヒットなどにより、前年同期と比較して大幅な増収となりました。
- **テレビアニメ部門**: ゲーム向け音声製作が好調に稼働したものの、前年同期と比較して放映作品数は減少したことから、若干の減収となりました。
- **コンテンツ事業部門**: 前年同期好調に稼働した映画「魔女見習いをさがして」や「デジモンアドベンチャー」シリーズのブルーレイ・DVDの反動減などにより、減収となりました。
- **海外映像部門**: 映画「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」、劇場版「ONE PIECE FILM RED」の海外上映権販売に加えて、海外映像配信権販売が好調に稼働したことから、前年同期と比較して大幅な増収となりました。
- **その他部門**: 国内の映像配信権販売が好調に稼働したことから、前年同期と比較して増収となりました。

## 事業セグメントの状況

### 著作権事業 作品に登場するキャラクターを使用した 商品制作の許諾

### Major Lineup



国内展開商品 「ドラゴンボール」シリーズ、「ワンピース」

海外展開商品 「ドラゴンボール」シリーズ、「ワンピース」、「おしりたんてい」

売上高

204億32百万円

前年同期比

22.1%

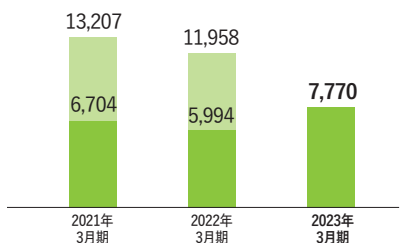
売上高構成比

48%

#### 国内著作権部門

売上高 77億70百万円

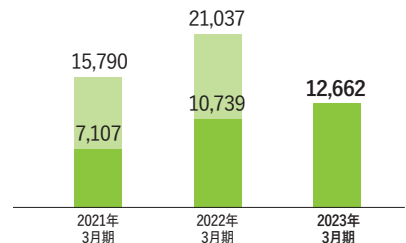
(百万円)



#### 海外著作権部門

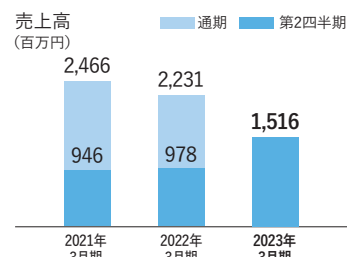
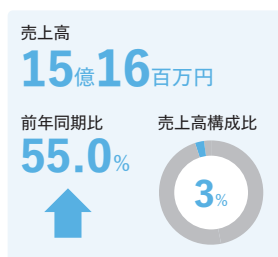
売上高 126億62百万円

(百万円)



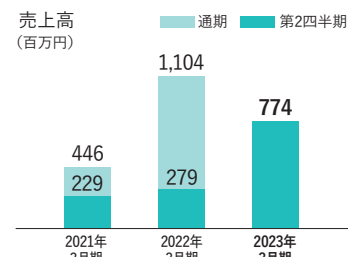
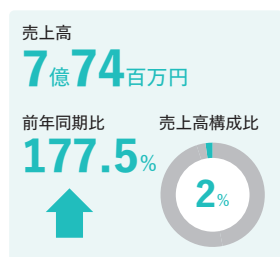
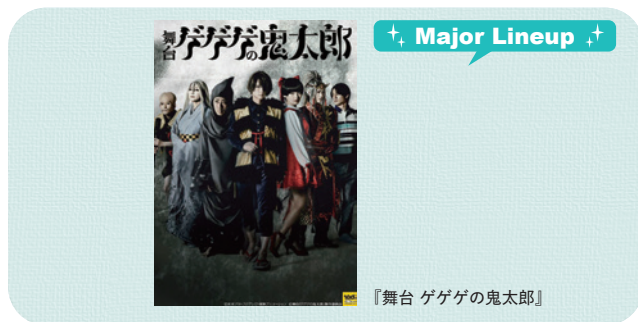
- **国内著作権部門**：「ワンピース」や「ドラゴンボール」シリーズなどの商品化権販売、特に両作品の劇場公開向け販売促進が好調に稼働したことから、大幅な増収となりました。
- **海外著作権部門**：「ワンピース」のゲーム化権販売に加え、「ドラゴンボール」シリーズや「ワンピース」、「デジモンアドベンチャー」シリーズの商品化権販売が好調に稼働したことから、大幅な増収となりました。

## 商品販売事業 | 自社商品の開発・販売やショップ展開



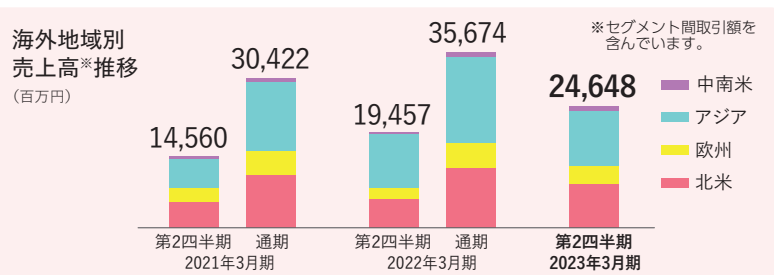
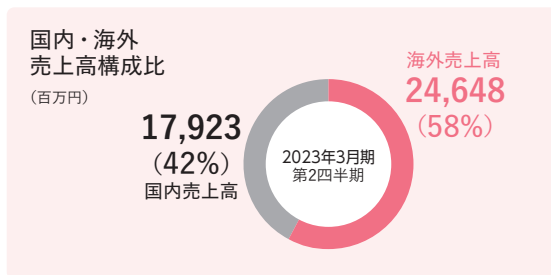
●「ワンピース」のショップ事業や「美少女戦士セーラームーン」シリーズの商品販売が好調に稼働したことなどから増収となりましたが、コロナ禍前の水準には至りませんでした。

## その他事業 | キャラクターを使用したイベントの企画・運営



●催事イベントやキャラクターショーなどを展開しました。「ワールドトリガー」や「ワンピース」の催事が好調に稼働したことから増収となりました。

## 海外での事業展開





2022年度実施

## 株主さまアンケート結果のご報告

2022年7月に実施しました株主さまアンケートに、数多くのご回答をお寄せいただき誠にありがとうございました。ご返信をいただきました2,000名を超える株主さまの中から厳正なる抽選を行い、500名の皆さまに「ワンピース」、「デリシャスパーティ♡プリキュア」のクリアファイルセットを送付しました。今回もアンケート結果のご報告として、皆さまより頂戴したご意見の一部と担当者からのコメントを紹介します。

アンケート回収状況

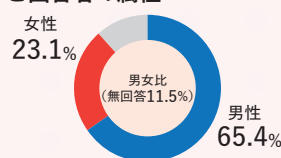
回収率

回答数 **2,036名**  
株主数 **7,661名**※

※2022年3月末時点

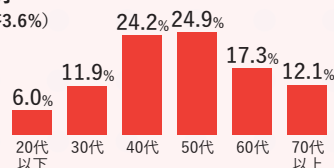
**26.6%**

ご回答者の属性



年代別

(無回答3.6%)



### 当社の株主優待(キャラクターQUOカード)について

満足している

**86.4%**



満足していない  
**10.0%**  
(無回答3.6%)

友人に見せびらかしている。(60代男性)

オリジナルのものであるから。(20代男性)

QUOカードを集めることが好きで、コレクションに最適だから。(30代男性)

「SLAM DUNK」のQUOカード、とっても期待しています。来年お願いします!! (20代女性)

「ひみつのアッコちゃん」、懐しい。今でも歌を覚えています。(60代女性)

家族でアニメファンなので、ずっと集めています。(70代以上女性)

古いアニメはあまり知りませんが、知る機会になり良いです。(10代男性)

旧バージョンは、親(私)は懐かしく、子どもたちは新鮮に感じているので毎回楽しみ。(30代女性)

子どもと見た映画の柄があったので嬉しかったです。(40代男性)

デザインが映画のポスターのようでカッコいい。(20代女性)

世代の枠を超えて愛されているキャラクター。(40代男性)

最新の作品と昭和の作品で、その中間層(平成あたり)がないのが寂しいので、中間層のものがほしい。(30代女性)

QUOカードの必要はないと思います。キャラクタープレミアムカードで良いと思います。(60代男性)

株数に応じて種類を変えてほしい。(40代男性)

優待より株主還元を希望。(無回答)

担当者より

アンケートご協力をお願い

締切日: 2022年12月7日(水)

株主の皆さまとより良い関係を築き上げていくために、本誌郵送時に同封のアンケートにご協力をお願いします。ご回答いただきました方の中から抽選で**300名様**に「ワンピース」**2023年カレンダー**を進呈します。年内発送に間に合わせるため応募期間が短くなっていますので、ご注意ください。当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



## 皆さまからのご意見・ご質問

**Q** 8月公開の劇場版「ONE PIECE FILM RED」にファンとして内容・業績ともに期待しています。本編も終盤ということでスタッフの皆さま最後まで頑張ってください。(50代女性)

**A** ご声援ありがとうございます。8月6日公開の劇場版「ONE PIECE FILM RED」は、劇場版「ONE PIECE」の第15作目、前作「ONE PIECE STAMPEDE」から3年振りの劇場作品となります。

2022年10月末時点において、興行収入は170億円、観客動員数は1,200万人を突破する記録的ヒットとなっています。皆さま楽しんでいただけましたでしょうか。

今作では、“歌姫”のウタと赤髪のシャンクス、そして麦わらの一味を軸としたストーリーが描かれています。歌唱キャストに歌い手のAdoさんを起用し、3DCGと作画を融合させた迫力のライブシーンなど、従来の「ONE PIECE」ファンだけでなく、誰もが楽しめるエンターテインメント作品に仕上がっています。

原作、監督、脚本、スタッフなど、全ての関係者の力が結集した結果です。それだけに、皆さまからの喜びの声は大変嬉しく思います。今後も、よりいっそう皆さまに楽しんでいただける作品づくりに励んでいきますので、何卒ご支援のほどよろしくお願いたします。

**Q** 東映アニメーションのSDGsに対する今後の取組みについて、周知をお願いします。(50代女性)

**A** SDGs(Sustainable Development Goals)は、「持続可能な開発目標」と訳され、近年、さまざまな場所で注目を集めるキーワードとなっています。会社という視点から見ると、SDGsに参加し世界が抱える課題解決に貢献することで、会社に関わる多くの人との関係を良好に保つことができます。当社にとってもSDGsは最重要経営課題のひとつです。当社が行っている主な取組みについては、6ページでもご紹介している「PERO'S レポート 統合報告書2022」に掲載していますので、ぜひご覧ください。環境への取組みでは本社や製作スタジオにおけるCO<sub>2</sub>排出量削減の施策について、社会への取組みではアニメーター養成プログラム「東映アニメーション作画アカデミー」について情報を開示しています。

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

**Q** 「第84期 決算のご報告」のプロデューサーインタビューはあまりない視点の記事だったので興味深かった。(70代以上男性)

**A** 前号※では、「ONE PIECE」テレビアニメ初代プロデューサー清水氏のインタビューを特集し、非常に多くの方から好意的な反響をいただきました。

アニメーション制作には非常に多くの工程と関係者が存在します。それら全てに関わり、制作チームを統括していくのがプロデューサーの主要な役割です。彼らがどのような考えをもって作品づくりに望んでいるかは作品に大きく影響を与えます。しかし、一般の方は彼らの仕事を目にする機会はあまりないのではないのでしょうか。そのため、「PERO'Sステーション」では積極的にプロデューサーの方々の想いをお伝えする特集を企画しています。今回も、「ドラゴンボール」のプロデューサー林田氏によるインタビューを特集しました。「ドラゴンボール」ファンだけでなく、アニメファンの方々にとっても非常に興味深い内容になっていますので、ぜひご一読いただき、彼らの作品に対する想いに触れていただければと思います。

※ 前号の「PERO'Sステーション」は、当社Webサイト「IR情報」よりPDFでご覧いただけます。

**Q** 決算報告書でありながら見ていてワクワク感があり、楽しんで見ることができました。大変ユニークで好感が持てました！(60代男性)

**A** ありがとうございます。私たちは「PERO'Sステーション」をただの決算報告書としてではなく、ファンの皆さまとの重要なコミュニケーションツールのひとつだと考えています。大人から子どもまで、一人でも多くの方に当社のことを理解いただき、また、楽しんでいただける内容にできるよう奮闘しています。

一般の方にはなじみの薄い言葉やわかりにくい内容が出てくることもあるかもしれません。そんな時は、「この言葉について詳しく説明してほしい」、「この内容についてもっと知りたい」、「この企画がおもしろかった!」など、ご意見・ご感想をぜひお聞かせください。こうした交流を続けることで、より良い「PERO'Sステーション」ができていくと考えています。

今後も、皆さまと一緒に、一方通行の報告書ではなく、皆さまがよりいっそう楽しめる「PERO'Sステーション」を作り上げていきたいと思います。

# 株主優待のご案内

権利確定日：3月末日

2022年3月期  
贈呈の  
QUOカード



「ドラゴンボール超  
スーパーヒーロー」

2022年6月11日  
公開作品

描き  
おろし



「デリシャスパーティ♡プリキュア」

毎週日曜日 朝8:30～ ABCテレビ・テレビ朝日系列にて放映中



「ひみつのアッコちゃん」

1969年1月6日～  
1970年10月26日  
放映



「グレートマジンガー対ゲッターロボ」

1975年3月21日公開作品

## 株主優待オリジナルの 「キャラクター QUOカード」を贈呈

株主優待限定の描きおろしデザインを含む、  
人気の新作アニメ2枚、懐かしの名作アニメ  
2枚の計4枚が1セットです。

### 贈呈基準

| 所有株式数     | 優待内容              |
|-----------|-------------------|
| 100株以上    | 1セット (1,200円相当)   |
| 300株以上    | 2セット (2,400円相当)   |
| 500株以上    | 3セット (3,600円相当)   |
| 1,000株以上  | 5セット (6,000円相当)   |
| 3,000株以上  | 8セット (9,600円相当)   |
| 5,000株以上  | 10セット (12,000円相当) |
| 10,000株以上 | 12セット (14,400円相当) |



## 株主さま限定オンラインイベントを開催します！

日時<sup>※1</sup>：2023年3月中旬

内容<sup>※2</sup>：①プリキュア関連企画  
②東映動画歴史紹介  
③新事業紹介

対象：2022年9月末日現在の株主名簿に記載または記録された株主さま  
問い合わせ先<sup>※3</sup>：ir-mail@toei-anim.co.jp  
視聴方法・配信開始時期などの詳細は、2月上旬に  
案内状を郵送予定です。

※1 配信日から1ヵ月ほどアーカイブ配信する予定です。

※2 当日の配信内容に変更がある場合がございます。ご了承くださいませよう、お願いします。

※3 在宅勤務を併用しているため電話での対応ができません。何卒ご理解いただけますようお願いいたします。



## 会社情報 (2022年9月30日現在)

|        |  |
|--------|--|
| 商号     | 東映アニメーション株式会社  |
| 英文社名   | TOEI ANIMATION CO., LTD.   |
| 本社     | 〒164-0001<br>東京都中野区中野四丁目10番1号<br>中野セントラルパーク イースト5階<br>TEL 03-5318-0678(代表) |
| 従業員数   | 連結 :877名 単体 :600名  |
| 上場市場   | 東証スタンダード(コード:4816)   |
| ホームページ | <a href="https://corp.toei-anim.co.jp">https://corp.toei-anim.co.jp</a>    |

## 株主メモ

|                 |   |
|-----------------|---|
| 決算期             | 毎年3月31日   |
| 定時株主総会          | 毎年6月に開催します。   |
| 基準日             | 毎年3月31日 其他必要がある場合は、あらかじめ公告します。  |
| 剰余金の配当          | 毎年3月31日現在の株主または登録株式質権者にお支払いします。   |
| 株主名簿管理人         | 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社  |
| 特別口座の<br>口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社  |
| 郵便物送付先          | 〒137-8081<br>新東京郵便局私書箱第29号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社<br>証券代行部                            |
| (電話照会先)         | TEL:0120-232-711(通話料無料)<br>(受付時間:土・日・祝日を除く<br>9:00~17:00)                       |
| 公告方法            | 電子公告<br><a href="https://corp.toei-anim.co.jp">https://corp.toei-anim.co.jp</a> |

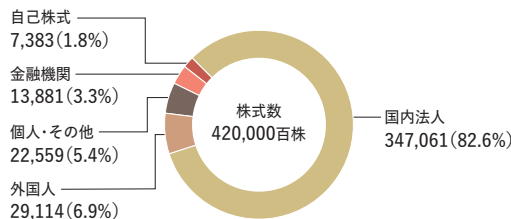
## 株式の状況 (2022年9月30日現在)

|          |             |
|----------|-------------|
| 発行済み株式総数 | 42,000,000株 |
| 株主数      | 7,728名      |

### 大株主(上位10社およびその状況)

| 株主名   | 持株数<br>(百株) | 持株比率<br>(%) |
|---|-------------|-------------|
| 東映株式会社  | 141,000     | 33.6        |
| 株式会社テレビ朝日   | 82,509      | 19.6        |
| 株式会社バンダイナムコホールディングス                                 | 45,372      | 10.8        |
| 株式会社フジ・メディア・ホールディングス                                | 42,300      | 10.1        |
| JP MORGAN CHASE BANK 380815                         | 20,200      | 4.8         |
| 東映ビデオ株式会社   | 13,647      | 3.2         |
| 東映ラボ・テック株式会社  | 10,500      | 2.5         |
| みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 ソニー株003口<br>再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行 | 7,800       | 1.9         |
| 株式会社ソニー・ピクチャーズエンタテインメント                             | 7,800       | 1.9         |
| 東映アニメーション株式会社                                       | 7,383       | 1.8         |

### 所有者別株式分布状況 (単位:百株)



## お知らせ

### ■住所変更、単元未満株式の買取などのお申し出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

### ■「配当金計算書」について

配当金支払いの際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

※確定申告をなされる株主さまは、大切に保管ください。

第85期下期

# 注目の8作品



「デリシャスパーティ♡プリキュア」  
毎週日曜日 朝8:30～  
ABCテレビ・テレビ朝日系列にて放映中



「デジモンゴーストゲーム」  
毎週日曜日 朝9:00～  
フジテレビほかにて放映中



「ワンピース」  
毎週日曜日 朝9:30～  
フジテレビほかにて放映中



「ミラキュラス レディバグ&  
シャノワール」  
毎週土曜日 朝7:30～  
テレビ東京系列にて放映中



「おしりたんてい」  
毎週土曜日 朝9:00～  
NHK Eテレにて放映中



「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」  
毎週金曜日 午後6:40～  
NHK Eテレにて放映中



「映画  
デリシャスパーティ♡プリキュア  
夢みる♡おしさまランチ!!」  
2022年9月23日公開



「THE FIRST SLAM DUNK」  
2022年12月3日公開

© I.T.PLANNING,INC.・2022 THE FIRST SLAM DUNK Film Partners・三条陸、稲田浩司/集英社・ダイの大冒険製作委員会・テレビ東京・SQUARE ENIX CO., LTD.・BIRD STUDIO/SYUEISHA・本郷あきよし・フジテレビ・Eiichiro Oda/2022"One Piece"production committee・尾田栄一郎・集英社・水木プロ・舞台「ゲゲゲの鬼太郎」製作委員会・バード・スタジオ・「2022 ドラゴンボール超」製作委員会・赤塚不二夫・ダイナミック企画・ABC-A・トロール・ポプラ社/おしりたんてい製作委員会・廣嶋玲子・jyajya /借成社/銭天堂製作委員会・2022 映画デリシャスパーティ♡プリキュア製作委員会・2022 ZAGTOON - METHOD - TOEI ANIMATION.・東映アニメーション

## 免責事項

この報告書に記載しております当社および当社グループの計画や見通しにつきましては、現在入手可能な情報から得られた経営者の判断に基づいたものであり、今後さまざまな要因の変化により異なる結果となることがあります。

本誌は、環境に配慮した森林認証紙および植物油インキを使用しています。

